

電源立地地域温排水対策事業

(東通地点)

(要約)

清藤 真樹

温排水を有効利用したアワビ養殖の可能性について検討するための基礎資料を得ることを目的として、アワビ養殖試験を実施した。なお、詳細は「平成7年度電源立地地域温排水対策事業調査報告書(東通地点)」(平成8年3月、青森県)として報告した。

アワビ養殖試験

青森県栽培漁業公社の平成4年産エゾアワビ稚貝(平均殻長21.34mm)約2,000個を、平成5年6月26日からプラスチック製籠(MA-50型、52×35×27cm)10個に200個/籠で収容して、東通村白糠漁港内(水深10m)で海面養殖試験を実施した。平成7年11月の平均殻長は66.27mm、平均重量は43.95g、生残率は31.6%であった。

春から秋にかけて水温が15℃以上になる期間の成長が大きく、冬から春にかけて水温が15℃以下になる期間の成長が停滞する傾向がみられた。

殻長50mmになるころから減耗が緩やかになることから、50mmまでの減耗を防ぐとともに、籠養殖における貝の成長及び飼育密度の検討が今後必要になると考えられた。

表1 アワビ養殖試験測定結果

年月日	平均殻長 (mm)	平均重量 (g)	生残率 (%)
平成5年 6月26日	21.34 (1.25)	1.32 (0.27)	100.0
9月25日	26.93 (3.13)	2.67 (0.90)	94.0
平成6年 3月9日	34.03 (4.45)	5.73 (2.20)	75.5
6月26日	35.60 (5.24)	7.01 (2.94)	59.5
11月26日	51.61 (8.86)	21.36 (9.78)	41.0
平成7年 2月16日	52.61 (8.86)	22.46 (10.06)	38.5
6月16日	54.47 (9.76)	26.64 (13.26)	37.9
11月21日	66.27 (6.77)	43.95 (12.65)	36.1

()内は標準偏差